

京都市では、各施設の運営がどのようなになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市立学校・幼稚園の運営について

(幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、総合支援学校、高等学校)

令和5年度 学校・幼稚園数 : 幼稚園 15 園、小学校 158 校、中学校 72 校、
総合支援学校 8 校、高等学校 11 校
児童生徒数 : 幼稚園 675 人、小学校 57,984 人、中学校 27,046 人
総合支援学校 1,192 人、高等学校 5,117 人
合計 92,014 人
※ 小・中学校の学校数、児童生徒数に義務教育学校前後期課程の数を含む

学校・幼稚園の収入と支出

<支出>

総額 800.2 億円

利用者 1 人当たりの運営経費 869,700 円

人件費 741,790 円 ※小・中・総合支援学校の教職員数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で定められています。	教材費・ 運営費等 127,910 円
--	---------------------------

<収入>

609,400 円 (70.1%) 国・府支出金等 ※旧府費負担教職員(小・中・総合支援学校)の給与費移譲に伴い移譲された税源及び地方交付税措置を含む。	251,540 円 (28.9%) <u>市民の税金等で負担</u> <u>(公費で負担)</u>
--	--

8,760 円 (1.0%)
教育事務受託収入、
実習生産物売却収入(総合支援学校)等

いずれも概数
〔10 円単位で四捨五入〕

※ 直接、児童に還元される学用品・実習材料費等に係る経費として保護者から集金する預り金を除く。

施設の運営費は、利用者の負担(施設使用料等)と公費負担(国や府からの補助金及び市民の皆様に納めていただく税金)などにより賄われています。
施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組(維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等)を進めてまいります。